

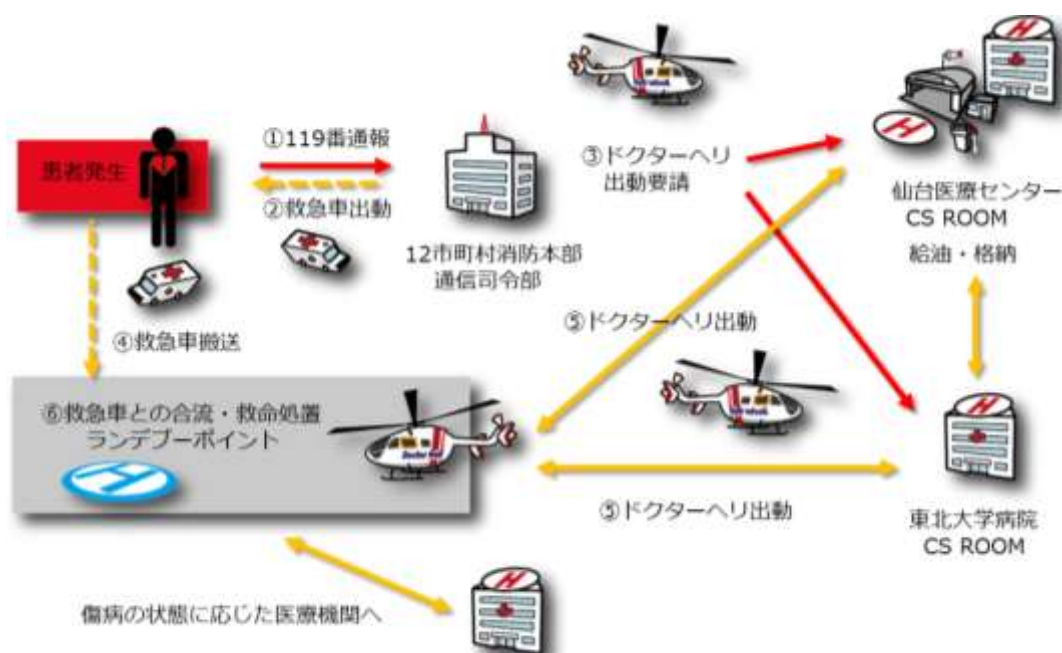
## ドクターヘリの概要

### 1 ドクターヘリとは

- 医療機器などが装備された救急医療用のヘリコプターで、医師や看護師などの医療スタッフが搭乗します。
- 消防機関からの出動要請を受け、基地病院から医師や看護師がヘリに搭乗し、救急現場付近のランデブーポイント（臨時離着陸場）へ向かい、ランデブーポイントで傷病者を搬送した消防機関と合流し、傷病者を医療機関へ搬送します。
- 搭乗した医療スタッフが、早い段階から治療を始めることができるため、傷病者の救命率向上や、後遺症軽減などの効果が期待されます。
- 平成29年2月現在、全国40道府県で49機のドクターヘリが運航しています。

### 2 ドクターヘリの運航方法等

- 県内全域を運航範囲とし、基地病院である仙台医療センター（仙台市宮城野区）と東北大学病院（仙台市青葉区）から交代で出動します。
- 悪天候や視界不良の場合等、天候などにより安全が確保できないときは、運航を休止することもあります。原則として土曜日や日曜日を含め、毎日運航します。
- 運航エリアは、宮城県全域となっておりますが、傷病者を県外に搬送する必要がある場合や他県からの要請があった場合、災害が発生した場合等は、県外への出動も行います。
- 将来的には、救急医療体制の充実・強化を図るため、ドクターヘリの相互利用に関して、近隣県と広域連携を締結する予定です。



### 3 ランデブーポイント（臨時離着陸場）

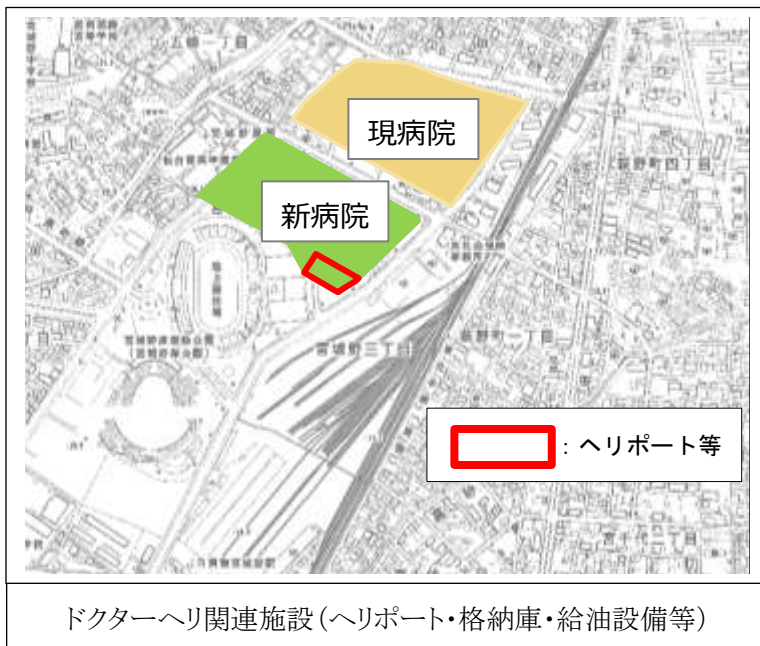
- ドクターヘリで使用するヘリコプターは小型であるため、公共施設の駐車場や学校のグラウンドなどをランデブーポイントとして使用し、救急現場付近に着陸することができます。
- ドクターヘリを有効活用するためには、傷病者をいかに早くランデブーポイントへ搬送し、ドクターヘリで到着した医師や看護師が治療を開始できるかがポイントになりますので、全ての市町村で適切なランデブーポイントを確保することが必要になります。
- ランデブーポイントは、平成29年2月現在、361か所確保されています。

### 4 運航開始時期

- 平成28年10月28日（金）

### 5 運航状況（平成29年2月末）

- 要請件数：51件
- 出動件数：35件  
（内訳）
  - 現場救急22件
  - 転院搬送13件



BK117-C2（川崎重工製）